

食育事業取組報告書(東小学校)

食育活動区分	(該当するものを口で囲む) 育てる・ 作る ・ 食べる ・返す	実施年月日	6年 12月 10日
教科名	家庭,社会	指導者	
単元名	食べて元気! ご飯とみそ汁未来を支える食料生産		
ねらい	米の良さを再発見し、米を積極的に食べようとする。		
児童・生徒の活動		支援・指導上の留意点	資料
<p>《お米のパワー大発見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日家や給食で食べているお米について詳しく学んだ。 ・米の構造やパンとの違い、米飯の特徴について写真や実物を用いて学習した。 <p>《新発田市産のお米と味噌を使ったご飯、みそ汁作り》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご飯と新発田市産のあやめみそを使ったみそ汁作り ・栄養教諭による作り方に関するポイントを指導 ・5~6人班に分かれて、調理実習を行った。 		<ul style="list-style-type: none"> ・7月の自然教室で野外炊きをした時に飯ごうで米を炊く体験をした。事前学習として、お米の炊き方を学習し、ガスでお米を炊く練習を行った。 ・家でも米とぎや炊飯に挑戦するよう、呼びかけた。 ・給食のご飯は、新発田市産のお米が使われていることを改めて確認した。 ・おこわを作るときに使用する蒸し器が足りなかったため、東中学校から貸していただいた。 ・事前に米を洗米し、水に浸したり、食材を人数分に分けるなど、時間内で作り終えることができるよう、下準備した。 	
成果と課題	<p>普段、毎日口に入れているお米のパワーについて、詳しく知ることができ、興味を示しながら授業を受けていた。特に、米は食べるだけでなく、粳や稲までも捨てる場所がない程様々なことに活用できるということに驚いていた。調理実習では、煮干しを使ってだしを取るところからみそ汁を作った。給食によく出る新発田産のみそ汁を自分で作る体験ができたことに喜びを感じていた。実際に家でも作ったという声があった。また、餅米を使っておこわを作ることも、ほとんどの子どもにとって初めてのことであったため、興味を示しながら作っていた。</p>		
家庭・地域連携	<p>新発田市産の食材について学んだことや調理の様子、事後の感想等、学級・学年便りに活動の様子を掲載し、広く、周知した。調理実習を時間内に終わらせるように、食器等の準備・そのまま持ち帰った事後の対応をお願いするなど、協力・連携を呼びかけ、無事に予定通りに実施することができた。</p>		

